

# 「日本語体験コンテスト」予選会・日本理解度比較

2016年度にカンボジア、ベトナム、中国、タイ、インドネシア、ミャンマー、マレーシアで開催致しました「日本語体験コンテスト」では、一次選考問題（予選会）の聞き取り問題30問を出題し、その回答率から、7カ国それぞれの日本に対する理解度や、日本からの情報収集度がわかり、二次選考のスピーチテーマからは、日本の何に関心があるかをみることができました。

2016年度「日本語体験コンテスト」予選問題（30問）による6か国日本文化理解度比較

<一次選考 聞き取り問題 30問>

問題	カンボジア	ベトナム	中国	タイ	インドネシア	ミャンマー	マレーシア
1 日本で一番古いマンガは何時代ごろのものでしょうか。 A 江戸時代 B 平安時代 C 昭和時代	33.9%	25.0%	32.9%	15.2%	34.2%	23.1%	13.6%
2 日本で2015年の音楽のライブコンサートで一番多く人が集まったのはどのアーティストのライブでしょうか。 A Mr.Children B 嵐 C EXILE	19.4%	9.1%	17.1%	3.0%	7.9%	21.2%	4.5%
3 日本で一番人口が多いのは東京ですが、日本で一番人口が少ないのはどの県でしょうか。 A 鳥取県 B 熊本県 C 神奈川県	30.6%	70.5%	63.2%	72.7%	42.1%	30.8%	54.5%
4 昨年日本を訪れた人が最も多い東南アジアの国はどこでしょうか。 A インドネシア B ベトナム C タイ	30.6%	27.3%	26.3%	75.8%	23.7%	26.9%	18.2%
5 今年、大相撲で日本出身の力士として10年ぶりに優勝したのは誰でしょうか。 A 稀勢の里 B 豪栄道 C 琴奨菊	35.5%	36.4%	39.5%	15.2%	34.2%	36.5%	50.0%
6 日本で最も長い川は何という名前でしょうか。 A 信濃川 B 最上川 C 利根川	40.3%	56.8%	44.7%	48.5%	50.0%	55.8%	50.0%
7 現在の日本の総理大臣は誰でしょうか。 A 安倍なつみ B 安倍晋三 C 安倍晴明	66.1%	88.6%	63.2%	97.0%	81.6%	80.8%	72.7%
8 次の戦国武将のうち、将軍となったのは誰でしょうか。 A 織田信長 B 豊臣秀吉 C 徳川家康	41.9%	63.6%	59.2%	57.6%	50.0%	34.6%	54.5%
9 東京23区内を走っている地下鉄は全部でいくつ、路線があるでしょうか。 A 7路線 B 13路線 C 28路線	41.9%	47.7%	43.4%	39.4%	36.8%	30.8%	50.0%
10 2016年に新しくできた国民の休日は何でしょうか。 A 花の日 B 山の日 C 空の日	33.9%	65.9%	56.6%	48.5%	42.1%	36.5%	50.0%
11 2015年のM-1グランプリで優勝したお笑いコンビの名前はなんですか。 A 銀シャリ B ジャルジャル C トレンディエンジェル	46.8%	54.5%	51.3%	45.5%	55.3%	48.1%	50.0%
12 日本の65歳以上の高齢者人口は総人口の約何%でしょうか。 A 17% B 27% C 37%	24.2%	40.9%	31.6%	36.4%	31.6%	40.4%	40.9%
13 成人式や大学の卒業式などで若い女の子が着る袖の長い着物を何と言うでしょうか。 A 振り袖 B 留め袖 C ゆかた	30.6%	81.8%	71.1%	66.7%	52.6%	30.8%	45.5%
14 お相撲さんがよく食べる料理は何でしょうか。 A 手料理 B 懐石料理 C ちゃんこ料理	45.2%	84.1%	56.6%	72.7%	26.3%	38.5%	63.6%
15 熊本県で最も有名なゆるキャラは次のうちどれでしょうか。 A くまモン B ドラえもん C ねぼ〜くん	50.0%	70.5%	88.2%	97.0%	84.2%	17.3%	81.8%

2016年10月

2016年10月

問題	カンボジア	ベトナム	中国	タイ	インドネシア	ミャンマー	マレーシア
16 日本料理には欠かせないカツオや昆布を使って作るスープの素は何でしょうか。 A みりん B 酢 C だし	43.5%	61.4%	61.8%	63.6%	71.1%	25.0%	63.6%
17 江戸時代に発達した版画絵で、当時人気のあった歌舞伎役者や風景などを描いたものを何と言うでしょうか。 A 塗り絵 B ちぎり絵 C 浮世絵	35.5%	27.3%	44.7%	42.4%	60.5%	40.4%	54.5%
18 主に大学を卒業予定の者で、希望する会社を選び仕事につくための活動を短くして何と言うでしょうか。 A しゅうかつ B とんかつ C こんかつ	45.2%	61.4%	80.3%	66.7%	47.4%	38.5%	68.2%
19 日本の消費税率は、現在何%でしょうか。 A 5% B 8% C 3%	40.3%	56.8%	64.5%	69.7%	39.5%	51.9%	77.3%
20 アメリカのオバマ大統領が5月に訪問し、話題になった市はどこでしょうか。 A 広島市 B 長崎市 C 高崎市	66.1%	75.0%	46.1%	60.6%	47.4%	50.0%	68.2%
21 今の日本の元号は何でしょうか。 A 昭和 B 明治 C 平成	53.2%	68.2%	80.3%	90.9%	63.2%	73.1%	81.8%
22 日本の都道府県は全部でいくつあるでしょうか。 A 37 B 47 C 57	43.5%	68.2%	64.5%	63.6%	44.7%	50.0%	45.5%
23 日本語で「コケッコウ」は、何という動物の鳴き声でしょうか。 A 馬 B カエル C ニワトリ	59.7%	97.7%	68.4%	97.0%	68.4%	55.8%	68.2%
24 今年、新しく開通した新幹線は何新幹線でしょうか。 A 北陸新幹線 B 北海道新幹線 C 九州新幹線	30.6%	50.0%	46.1%	48.5%	42.1%	28.8%	40.9%
25 どんな所でも住み慣れれば心地よいことを ことわざで何と言うでしょうか。 A 住めば都 B 住めば都会 C 住めば田舎	33.9%	52.3%	68.4%	57.6%	39.5%	38.5%	59.1%
26 今年4月に新館に開業した日本最大のバスターミナルの名前は何でしょうか。 A バスタ新館 B バスが新館 C バスノ新館	59.7%	54.5%	67.1%	72.7%	52.6%	63.5%	45.5%
27 台湾の「ホンハイ精密工業」に買収された日本の大手電機メーカーはどこでしょうか。 A 東芝 B ソニー C シャープ	40.3%	59.1%	43.4%	39.4%	42.1%	26.9%	31.8%
28 夏目漱石の小説「吾輩は○○である」の○○に入る動物をひらがな2文字で書いてください。 <u>ねこ</u>	4.8%	31.8%	84.2%	18.2%	21.1%	15.4%	22.7%
29 解答用紙の写真は、何という作法でしょうか。ひらがな3文字で書いてください。 <u>おじぎ</u>	8.1%	40.9%	31.6%	15.2%	50.0%	17.3%	9.1%
30 2020年に開かれる東京オリンピックのロゴマークはどれでしょうか。 C	25.8%	68.2%	68.4%	54.5%	36.8%	13.5%	36.4%

(注記) ※正解率=正解者÷参加者数×100で算出【小数点第2位以下は四捨五入】

※参加者数：プノンペン62名、ホーチミン44名、上海76名、バンコク33名、ジャカルタ38名、ヤンゴン52名、クアラルンプール22名

## 【総評】

2016年の8月から10月中旬迄に一般財団法人共立国際交流奨学財団が実施した、「第4回日本語体験コンテストinプノンペン(カンボジア人62名)」、「第9回日本語体験コンテストinホーチミン(ベトナム人44名)」、「第14回日本語体験コンテストin上海(中国人76名)」、「第4回日本語体験コンテストinバンコク(タイ人33名)」、「第3回日本語体験コンテストinジャカルタ(インドネシア人38名)」、「第6回日本語体験コンテストinヤンゴン(ミャンマー人52名)」、「第2回日本語体験コンテストinクアラルンプール(マレーシア人22名)」、の7か国の予選会で実施された、日本の文化・生活・社会・スポーツ等についての30問の正解率から、カンボジア、ベトナム、中華人民共和国、タイ、インドネシア、ミャンマー、マレーシアで日本語を勉強している学生の日本語理解度を国別で比較しました。

- 第1問 日本文化の歴史に関する問題です。最も正答率が高かったのがインドネシアで34.2%、次いでカンボジアで33.9%と、3割程度にとどまりました。現代の日本の漫画文化には関心が高いと思いますが、その歴史にまで関心を持つ日本語学習者は少ないことがわかりました。
- 第2問 日本のアーティストに関する問題でしたが、最も正答率が高いミャンマーでも21.2%と全体的に正答率の低い問題でした。選択肢のアーティスト名は知っていたとしても、日本の芸能・音楽界における記録にまで関心を持ち、情報を得ている参加者は少なかったようです。
- 第3問 日本の都道府県に関する問題です。最も正答率が高いのはタイで、72.7%でした。タイの日本語学習者には、東京・京都・大阪などの主要な観光地だけでなく地方都市にも興味を持つ人が多いのではないかと考えられます。
- 第4問 訪日観光客に関する問題です。タイで最も正答率が高く、75.8%でした。タイは昨年日本を訪れた人が最も多い国ですが、自国の人々の多くが日本に渡航経験があるということを知っているようです。
- 第5問 大相撲に関する問題で、最も正答率が高いのはマレーシアで、50.0%でした。現在の大相撲は外国人力士も多く、海外場所も開催されていますが、マレーシア以外の6か国では正答率が40%に満たず、大相撲に対する関心は低いことがわかりました。
- 第6問 日本で最も長い川を問う地理分野の問題でした。最も正答率が高かったのはベトナムで、56.8%でした。他の国も40%～50%台の正答率となり、第3問の都道府県に関する問題で正答率の高かったタイも含め、日本の地理に関しては理解度が低いようです。
- 第7問 現在の日本の総理大臣を問う問題でした。正答率が最も高かったのはタイで、97.0%でした。中国での正答率が7か国で最も低かったのは意外でしたが、それでも63.2%と、各国の参加者が日本の政治に対して高い関心を持っていることがわかりました。
- 第8問 戦国武将に関する問題でした。最も正答率が高かったのはベトナムで、63.6%でした。ベトナムを含め5か国で50%以上の正答率だったことを考えると、有名な人物名に関しては知識を持っている人が多いのではないかと考えられます。
- 第9問 東京23区内を走る地下鉄に関する問題でした。この問題は、6か国での正答率が30%～40%台にとどまり、最も高いマレーシアでも50.0%でした。日本を訪れたことがある外国人でも、路線数の認知度は低いと考えられます。
- 第10問 2016年から新たに定められた「山の日」を問う問題で、最も正答率が高かったのはベトナムの65.9%でした。これは、近年日本におけるベトナム人の労働者数が増加し、日本での生活経験がある人が増えたことが正答率の高さの要因の1つでないかと考えられます。
- 第11問 日本のお笑いに関する問題で、最も正答率が高いのはインドネシアの55.3%でした。他6か国も45%～55%の正答率で、お笑いへの関心度は7か国でほぼ同等であると考えられます。
- 第12問 日本社会の高齢化に関する問題でした。正答率は、最も高いベトナムとマレーシアでも40.9%で、社会問題については理解度が低いことがわかりました。

- 第13問 着物の種類に関する問題で、最も正答率の高いベトナムでは81.8%と、日本の行事や伝統に対する認知度の高さがうかがえたのに対して、カンボジアとミャンマーでは約30%と低い正答率となりました。
- 第14問 第5問にも出題した相撲と、日本料理に関する問題でした。最も正答率が高いのはベトナムの84.1%でした。第5問で問われた力士の成績や名前に関しては知らなくても、力士が食べる料理が「ちゃんこ」であるという知識を持っている参加者が多かったようです。
- 第15問 熊本県で有名なキャラクターが何かを問う問題でした。正解の「くまモン」の認知度は高く、正答率は5か国で70%を超え、最も高いタイでは97.0%となりました。一方、ミャンマーでは17.3%と他の国に比べて正答率が低く、日本各地の観光PRの役割も担っている「ゆるキャラ」に興味がないことがわかりました。
- 第16問 日本料理に関する問題で、インドネシアの71.1%が最も高い正答率でした。正解の「だし」は日本の料理を食べただけでなく、調理の過程や材料などの知識がないと回答できない問題ですが、インドネシアを含む5か国で正答率が60%を超え、日本の食文化が広く浸透していることがわかりました。
- 第17問 江戸時代に発達した版画絵の名称を答える問題で、正答率が最も高いのはインドネシアで、60.5%でした。インドネシアでのみ正答率が高い理由はわかりませんが、他4か国では40%程度にとどまり、多くの日本語学習者が日本の文化として浮世絵を見たことはあっても、名称まで認知している人は少ないと思われます。
- 第18問 中国で最も正答率が高く、80.3%でした。日本で就職しようとする人数が多い分、「就活」に対する関心も高いためだと思います。
- 第19問 現在の日本の消費税に関する問題でした。最も正答率が高いのはマレーシアで、77.3%でした。日本を訪れても消費税を意識して買い物をすることはほほえないのではないかと考えられますが、7か国中5か国で正答率が50%を超えており、まずまずの理解度であると考えられます。
- 第20問 アメリカのオバマ大統領が2016年5月に訪問した「広島市」を問う問題でした。最も正答率が高かったのはベトナムで、75.0%でした。他5か国でも50%を超え、アメリカの現役大統領が被爆地を訪問するという出来事が、日本国内だけでなく世界的に注目されるニュースであったことがわかりました。
- 第21問 日本の元号に関する問題で、7か国中4か国で正答率が70%を超えました。元号は外国で普段使うこともなく、ニュースなどで聞くことも少ないと考えられますが、どのように知識を得たのか気になります。
- 第22問 日本の都道府県の数の問題でしたが、最も正答率が高いのはベトナムで、68.2%でした。この問題も日本の地理に関する問題ですが、第6問の河川の問題に比べると全体的に正答率が高く、47都道府県についてはより基礎的な知識で認知度が高いと思われます。
- 第23問 擬音語である動物の鳴き声の問題でした。正答率は、ベトナムでは97.7%、次いでタイでは97.0%と非常に高いものでした。擬音語や擬声語は日本語学習者にとって難しいものだと思いますが、他5か国でも正答率が55%を超えたのは意外な結果でした。
- 第24問 2016年に新しく開通した「北海道新幹線」についての問題でした。正答率は、最も高いベトナムで50.0%、他6か国も第9問の地下鉄に関する問題とほぼ同等の正答率となり、日本の公共交通機関について認知度が高くないことがわかりました。
- 第25問 故事・ことわざに関する問題です。最も正答率が高いのは中国で、68.4%でした。中国語に似たようなことわざや慣用表現があるわけではないようですが、他の6か国に比べて、中国の日本語学習者は日本の慣用表現に関する知識が豊富であると考えられます。
- 第26問 「バスタ新宿」についてはタイで最も正答率が高く72.7%でした。日本を訪れる人が最も多いため、観光に関わる施設や交通手段についても、タイの日本語学習者は高い関心をもっている事がわか

りました。

- 第27問** 台湾のホンハイ精密工業による「シャープ」の買収に関する問題でした。最も正答率が高いのはベトナムで59.1%でした。近年ベトナムから日本の企業に就職する人が多く、日本の企業について関心が高いと考えられますが、中国での正答率が40.3%と低かったのは意外でした。
- 第28問** 日本の文学に関する問題ですが、最も正答率が高い中国の84.2%に対し、他の6か国は約3割以下にとどまり差が大きく開きました。多くの日本語学習者にとって文学は敷居が高く、認知度の低いものだと考えられます。
- 第29問** 頭を下げている人の写真を見て「おじぎ」という動作を答える、日本語の語彙の問題でした。最も正答率が高いのはインドネシアの50.0%で、7か国中4か国で正答率が20%を下回りました。動作を動詞ではなく名詞で表現する語は非常に難易度が高いことがわかりました。
- 第30問** 2020年東京オリンピックのエンブレム候補として挙がっていた3つから、採用されたものを問う問題でした。正答率が最も高かったのは上海の68.4%、次いでホーチミンの68.2%と、2か国では東京オリンピックの認知度が比較的高いことがわかりました。一方で4か国では正答率が40%に満たず、関心の差が表れました。

今回の全問題の平均正答率を比較すると、高い順にベトナム56.5%、中国55.5%、タイ55.1%、マレーシア49.1%、インドネシア46.0%、カンボジア38.7%、ミャンマー38.0%でした。7か国すべてにおいて平均正答率は昨年度より上がっており、特にマレーシアでは昨年度に比べて36.6%上昇しました。多くの参加者が、日本の様々な分野について知ろうと努力してきた結果だと思います。しかし、今回出題した30問中、歴史・大相撲・文学・日本語の語彙・社会問題・交通などに関するものは、正答率が低い問題でした。学習者の日本語レベルによっては、敬遠されがちな分野だと考えられます。今後も日本語の学習を継続しながら、難しいと思う分野についてもさらに知識を深め、日本に対する理解を深めていってほしいと思います。



カンボジアでの予選会の様子



ベトナムでの予選会の様子



中国での予選会の様子



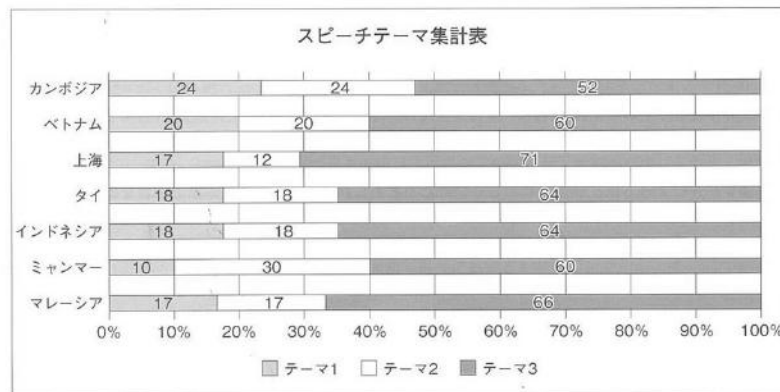
インドネシアでの予選会の様子

## 「日本語体験コンテスト」本選会・スピーチテーマ集計

### 本選会（スピーチ）

スピーチテーマ（選択）		カンボジア	ベトナム	中国	タイ	インドネシア	ミャンマー	マレーシア
1	日本を訪れる観光客を増やすために、日本政府あるいは日本人はどうしたらよいか	4	3	3	3	3	2	2
2	日本のアニメを見て「日本(人)らしい」と思う場面や主人公の考え方	4	3	2	3	3	6	2
3	あなたが好きな漢字一文字は何か	9	9	12	11	11	12	8

(単位：人)



### 【総評】

テーマ1を選んだ人はどの国でも25%以下でした。日本が改善すべき点を提言する形のテーマだったことにより難しさを感じて敬遠した参加者が多かったのではないかと思います。テーマ2は、テーマ1よりも身近なテーマだと思われましたが、テーマ2を選んだ人は、中国とミャンマー以外の5か国で、テーマ1と同じ割合でした。スピーチは、漫画が原作であるアニメについての内容が多く、日本人が何気なく見ているアニメの中から、日本の文化や習慣を学び取っている日本語学習者が多いことがわかりました。テーマ3は、どの国でも選んだ人が最も多いテーマでした。漢字は種類も多いため、スピーチの内容の差別化が可能だという理由も考えられますが、半数以上の参加者が漢字に関するテーマを選んでおり、漢字に対する関心が非常に高いことがわかりました。